

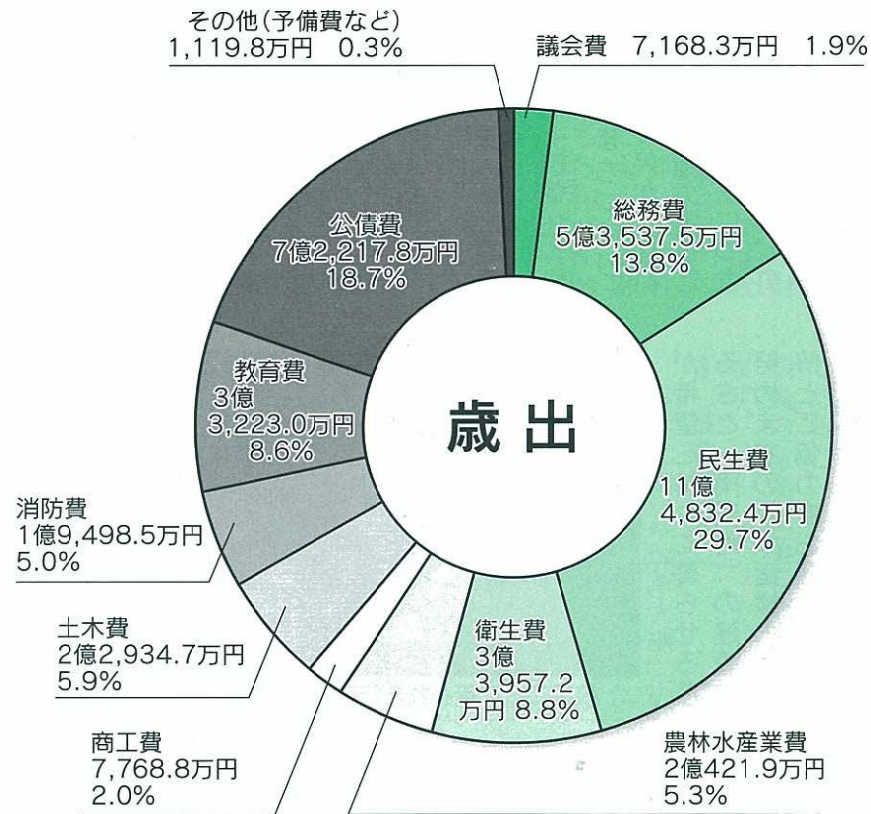
平成18年度 まちの予算

【一般会計 総額38億6,680万円】

歳出

平成18年度は骨格予算のため義務的経費などの最小限の計上となっています。その中で、道路維持工事、急傾斜地崩壊対策負担金、防火水槽建設等緊急的な事業を計上しています。また、議員定数16人を12人に、4役の給与について町長を15%、助役、収入役、教育長を10%減額するなどの人件費の削減を行っています。

特別会計では地域包括支援センターを設置し、介護予防事業を推進します。



歳出予算の主な事業

総務費

路線バス運行委託料……………917.2万円
 地方バス運行等特別対策補助金……………819.8万円

民生費

保育所費……………2億2,636万円

衛生費

有明広域行政事務組合清掃施設管理運営費負担金……………6,797.7万円

農林水産費

県営土地改良事業費負担金……………2,000万円

中山間地域等直接支払交付金……………2,981.3万円

商工費

商工会補助金……………500万円

土木費

急傾斜地崩壊対策負担金……………810万円
 道路維持工事……………1,950万円

消防費

有明広域行政事務組合消防費負担金……………1億2,069.6万円
 防火水槽建設工事……………1,480万円

教育費

町史編纂事業……………722万円

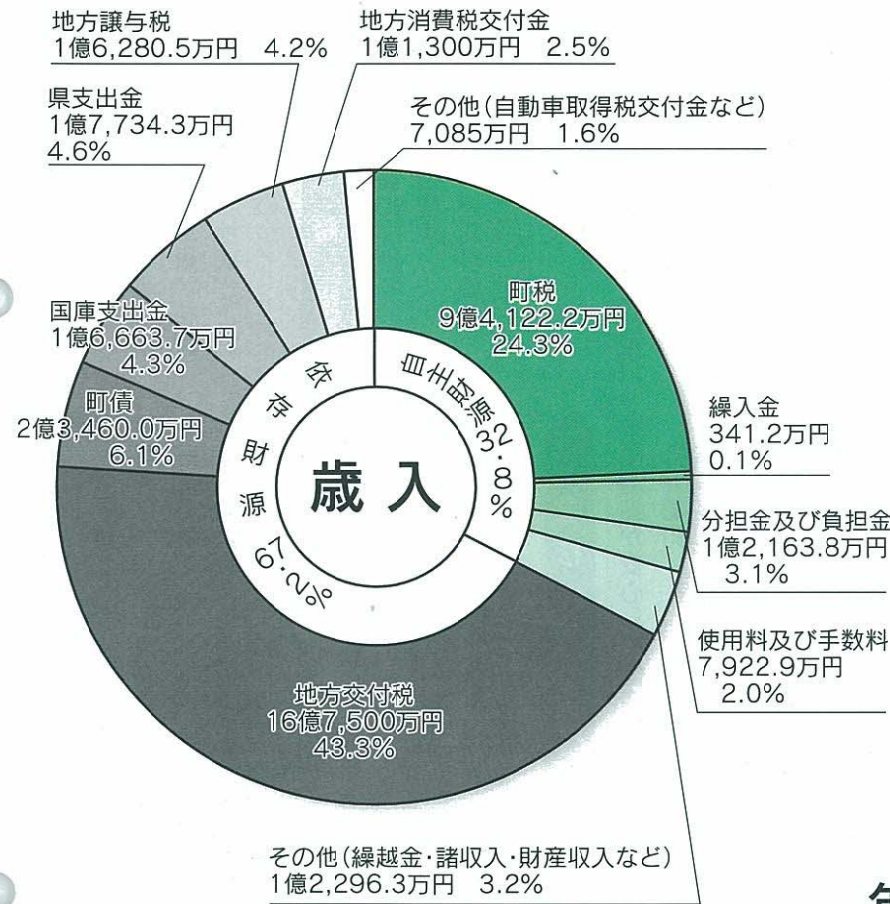
算

3月定例議会で、平成18年度一般会計予算並びに特別会計予算が審議され、一般会計予算総額は38億6,680万円に決まりました。平成18年度は町長改選期のため義務的経費を中心とした必要最小限の骨格予算を編成しました。このため、前年度の45億8,166万円と比べ15.6%の減少となっています。また、議員定数の削減、町長以下4役の人件費削減、職員手当や各種委員等報酬の見直しによる削減等、行政改革大綱に沿った予算編成を行っています。

歳入

予算総額のうち、町税や分担金及び負担金などの自主財源は、12億6,846万円と32.8%を占めています。主なものは、町税が9億4,122万円と前年度に比べ23%の増額となっており、やや景気回復の兆しをみせています。また、使用料・手数料の見直し等による歳入の確保に努めています。

一方、依存財源は、25億9,834万円と67.2%を占めています。主なものは、地方交付税16億7,500万円、町債2億3,460万円などとなっています。地方交付税については、三位一体の改革による影響で前年に比べ2.6%の減額となっています。また、国庫支出金、基金繰入金、町債は骨格予算のため減少しています。



年度別当初予算比較

特別会計予算

国民健康保険事業……………13億4,732万円
 老人保健事業……………18億1,561万円
 公共下水道事業……………2億6,794万円
 簡易水道事業……………684万円
 介護保険事業……………9億7,753万円
 介護サービス事業……………2億1,101万円
 浄化槽整備推進事業……………8,822万円

